

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

課題名：阿武荻地域若手女性農林漁業者の経営参画促進

所属名：萩農林水産事務所

担当者氏名：吉村しほ、池田秀美

<活動事例の要旨>

若手女性農林漁業者の経営参画を促進するため、「ステキ女子マルシェ」の主体的開催に向けた支援を行った。

あわせて、女性が活躍できる経営体の育成に向け、モデル経営体の対象選定に取り組んだ。

1 普及活動の課題・目標

管内では平成30年度以降、若手女性農林漁業者で構成する「阿武荻地域ステキ女子会」を対象に、研修や女子会を通じて仲間づくりの促進と資質向上に取り組んできた。

さらに、令和2年度からは「ステキ女子マルシェ」の実施支援を通じて、農林漁業の魅力発信や販売促進活動を展開し、主体的な取組の創出と、若手女性経営者としてのステップアップを目指している。

2 普及活動の内容

(1) 女性が活躍できる経営体の育成

モデル経営体候補者との信頼関係の構築を進めつつ対象の選定を行った。

また、令和3年度の県セミナーで作成したキャリアプランについて、見直し・検証を行うことを提案し了解を得た。

さらに、女子会の他メンバーへ事例提供を行い、自身のキャリアプラン作成の重要性について意識醸成を図った。

(2) ステキ女子マルシェの実践支援

地元企業とのコラボマルシェの企画立案や、実施に向けたスケジュールや役割分担の決定について支援した。

あわせて、メンバー自身が積極的に発言・提案できるよう、話し合いの場づくりや連絡体制づくりを行った。

3 普及活動の成果

一部メンバーにおいて、我が家の経営における自身の立ち位置等について点検し、経営改善に向けたキャリアプランの見直し、作成意向が高まった。

また、メンバー自らがマルシェの連携先となる地元企業を発掘したことで、主体的に企業との関係づくりに取り組み、開催に向けて積極的に行動する姿勢が見られるようになった。

さらに、自らの企画によるマルシェを実現したことで得られた充実感や達成感がさらなる意欲向上につながり、今後の販売促進や情報発信活動に向けた「押し食材」のレシピの作成にも発展した。

加えて、主体的かつ積極的な活動を通じて、メンバー間の結束力も高まり、

それぞれの個性を生かした役割分担等が明確になってきており、相互のフォロー体制もできつつある。

4 今後の普及活動に向けて

女性が活躍できる経営体の育成については、候補経営体が夫婦ともに、我が家の経営に加え地域での役割を多く抱えるなど多忙を極めており、現状整理に十分な時間を確保しにくい状況にある。

一方で、マルシェのように女子自身が主体性を発揮できる活動については、楽しみながら意欲的に取り組める状況がみられる。

今後は、こうした活動を通じて、我が家の経営への参画を意識していけるよう、適切なタイミングを捉えた働きかけや場面づくりを工夫していく。

また、対象者は、我が家の経営、地域や学校行事等において多くの役割を担う世代であることから、状況を十分に踏まえ、無理のない形で段階的かつ柔軟に支援していくことが重要である。